

平成28年度 決算報告

～住み続けたい まちを目指して～

平成二十八年度決算についてお知らせします。
一般会計の歳入は六十四億四千二百七十七万円で、予算現額に対して九十九・四％の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、六十一億三千四百二十六万円で、予算現額に対して九十五・一％の執行率でした。
今月号では昨年度の歳入と歳出の執行状況と実施した主な事業、財政健全化法に基づく健全化判断比率などについてご報告します。

歳入

歳入総額は、前年度比三億二千七百二十万円の増収となりました。これは、固定資産税や各種譲与税及び交付金が増加したことが主な理由です。

平成二十年度から導入した都市計画税は、都市計画事業を対象とした目的税であるため、下水道の整備費に充当しました。

歳出

歳出総額は、前年度比三億千四百四十八万円の増加となりました。昨年度は、安心して暮らせるまちづくりのための防犯・防災対策や、空港周辺地区を中心とした新たなぎわいの創造に繋がる事業を積極的に実施しました。

目的別歳出では総務費で二億七千三百八十九万円の増加（対前年度比プラス二十六・六％）、衛生費で一億六千三百三十二万円の増加（対前年度比プラス二十四・九％）でした。

昨年度は第四次総合計画の後期基本計画を開始して二年目でした。前期計画における進捗状況の分析を踏まえ、町では、まちづくりの将来像としている「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」をより高い次元で実現することを目指して各施策に取り組みました。

第四次総合計画のまちづくり目標別
に実施した主な事業は次のとおりです。

目標1 快適で活気あふれるコンパクトなまち

快適に心地よく暮らすことのできる良好な住環境を保つための都市基盤整備を進めました。

・大山川堤防道路整備を推進 (3331万円)

大山川右岸堤防道路（神明公園側）に歩道を設置するための用地を購入

・中道地内町道整備を推進 (1億89万円)

中道地内においての用地取得を進め、県道春日井稲沢線へ接続する町道9号線の道路整備を推進

・橋梁点検を実施 (4979万円)

町内の橋梁全十七か所について安全調査を実施

・下水道供用開始区域を拡大 (3億1558万円)

東栄、新田町と諏訪、四ツ塚の三地区において下水道を供用開始

目標2 にぎわいを生み出す個性豊かなまち

空港や航空機関連施設を活かした地域活性化に向けて取り組みました。また、既存の商工業や農業の振興に取り組みました。

・航空館の魅力を上向 (1755万円)

航空館boonのフライトシミュレータとクイズ端末機を更新

・交流拠点における環境を充実 (1905万円)

航空館boon、タウンバス車内、バス停六か所にWiFi（公衆無線LAN）を整備。あわせてバスロケーションシステムも整備

・産業観光を推進 (2065万円)

「ヒコキのまち とよま構想」を策定、観光パンフレットの作成、ポータルサイトの構築、旅行者による視察・意見交換会などを実施

・信用保証料補助を増額 (7329万円)

中小企業の振興のため、信用保証料補助を増額

・農業施設を更新 (6411万円)

農業施設の適正な維持管理により、農地の有効利用や農業の活性化を図るため、用排水路改修やポンプ更新を実施